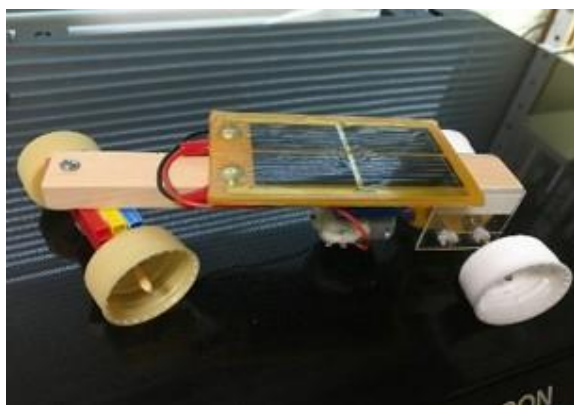


2022年12月号(319号)



冬休み環境学習講座の参加者を募集しています！
(P3)



「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました
(P8)



「アクション油ヶ淵 2022」を開催しました (P8)



「愛知県環境調査センター 一般公開デー」を
開催します (P12)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、
SDGs（持続可能な開発目標）の達成
に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」

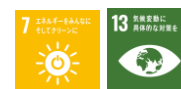
Web ページは

こちらから→

今月号とバックナンバーを掲載しています。



「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します



愛知県では、カーボンニュートラルの実現に向けた方策について考え、意識の向上や行動の見直しにつなげていただくため、「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します。

本県の地球温暖化対策を加速するために、県民、事業者等あらゆる主体の皆さんにそれぞれの立場で考えていただく機会となりますので、是非ご参加ください。

1 日時

12月22日（木） 14:00～17:00

2 開催方式

会場：愛知芸術文化センター 12階

アートスペースA（名古屋市東区）

オンライン：ライブ配信（Zoomを使用予定）

3 内容

(1) 主催者あいさつ（愛知県知事）

(2) 認定証授与式

自動車エコ事業所認定証

あいちCO₂削減マニフェスト2030認定証

(3) 基調講演等

○ 基調講演

「カーボンニュートラルへ向かう企業の気候リスク」

〔講師〕 上智大学

名誉教授 こうづま よしなお 上妻 義直 氏

【プロフィール】

上智大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得後、名古屋工業大学助手、オランダ・リンパーク研究所客員研究員、静岡県立大学助教授、上智大学経済学部助教授、同教授、同経済学部長を経て現在に至る。

環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、内閣府等のCSR・ESG・環境関係の審議会、検討会、研究会等で座長・委員等を歴任。専門は会計学、サステナビリティ報告論。



○ 事例発表①

「ものづくり技術によるカーボンニュートラル経営への転換」

〔講師〕 愛三工業(株)

カーボンニュートラル推進本部長 やまが よしとも 山家 吉智 氏

○ 事例発表②

「カーボンニュートラルの最新動向について」

〔講師〕 (株)ウェイストボックス

代表取締役社長 すずき しゅういちろう 鈴木 修一郎 氏

○ トークセッション

「脱炭素社会に求められる企業経営」

登壇者：基調講演・事例発表講師 3名

司会者：気象予報士/フリーアナウンサー

はやかわ あつこ 早川 敦子 氏

4 申込方法

下記 Web ページにある応募フォームからお申込みいただくか、参加申込書をダウンロードの上、Eメール又はFAXにより、12月16日（金）までにお申込みください。

Eメール：ondanka@pref.aichi.lg.jp

FAX：052-955-2029

Web ページ：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/forum2022.html>



🔍 あいち地球温暖化対策フォーラム

検索

5 参加費

無料（オンライン参加の通信費は自己負担）

6 定員

【会場】120名【オンライン】500名

ともに申込先着順

7 その他

CO₂排出量削減の一環として、このフォーラムの開催に伴い排出されるCO₂を、中部産CO₂クレジットを購入することによりカーボン・オフセット（排出されるCO₂の埋め合わせ）します。

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

あいちエコアクション・ポイント

参加店舗等を募集しています



愛知県では、県民の方の脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換を促すため、グリーン購入やプラスチック製カトラリー類（フォークやスプーン）の辞退などの環境配慮行動（エコアクション）に対し、県独自のポイントを付与する「あいちエコアクション・ポイント事業」を2023年2月中旬から実施します。現在、この事業に参加いただける店舗等を募集しています。

なお、このポイントは県民の方がスマートフォンで、QRコードを読み取ることで取得でき、一定ポイントを貯めるごとに、賞品が当たる抽選に応募できるものです。

1 募集対象

次のエコアクションの実施を県民に提供できる県内の店舗等

①グリーン購入、②プラスチック製カトラリー類の辞退、③使用済みクリーニングハンガーの返却、

④飲食店での食べ残しゼロ、⑤フードバンク等への寄付の5つです。

2 店舗等において実施する内容

ポイント付与のためのQRコードの設置及び参加店舗であることを周知するポスターの提示

3 募集期間

11月21日から随時受付

4 応募方法

「あいちエコアクション・ポイント事業参加店舗等募集サイト」から、事業詳細をご確認の上、ご応募ください。

(<https://www.eap.pref.aichi.jp/shop-boshu/>)



あいちエコアクション・ポイント

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

冬休み環境学習講座の参加者を募集しています！



愛知県では、体験しながら環境の大切さについて楽しく学ぶことができる「冬休み環境学習講座」を開催します。参加費は無料です。是非ご参加ください。

1 開催場所・日時等

あいち環境学習プラザ(名古屋市北区)

日時	講座名
12月26日(月) 10:00~12:00 13:30~15:30	ソーラーカーを作ろう！ ～発電もするよ！～
12月27日(火) 10:00~12:00	海の生き物
12月27日(火) 13:30~15:30	昆虫標本
2023年1月6日(金) 10:00~11:00 13:30~14:30	においのふしぎ

2 対象及び定員

小学生以上（小学生は保護者同伴）

定員 各回20名（保護者を含む。）

3 申込期限

12月12日（月）

※申込み多数の場合は抽選

※受講の可否を、申込みいただいたメールアドレスへ12月19日（月）までに送信します。

4 申込先・問合せ先

あいち環境学習プラザ

電話：052-908-5150

Eメール：kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2022fuyuyasumi.html>)



あいち環境学習プラザ 冬休み講座

検索

環境調査センター 企画情報部

あいち環境学習プラザ

電話 052-908-5150 (ダイヤルイン)

環境教育 協働授業づくり研修の

受講者を募集しています



愛知県では、持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を目指し、地域の団体・企業・社会教育施設等が、学校と連携・協働して授業をつくり上げる「協働授業づくり」を推進しています。

その一環として、効果的な環境学習を行うための「環境教育 協働授業づくり研修」を開催します。

地域の特性を生かした授業づくりをお考えの教員の方にもお勧めの研修です。是非ご参加ください。

1 日時

2023年1月6日（金）13:00～16:00

2 会場

愛知県環境調査センター（名古屋市北区）

3 内容

第1部【講義】

「環境学習分野における協働について」（30分）

名城大学教職センター 教授 ^{いなか ひろし}井中 宏史 氏

第2部【事例講座】

「事業者・行政・学校の各主体による協働の事例発表」（45分）

東邦ガスネットワーク株式会社 総務部

部長付 ^{くらはし かずひろ}倉橋 和宏 氏

一宮市環境部環境政策課 主事 ^{いわた ようすけ}岩田 陽介 氏

豊田市立藤岡南中学校 校長 ^{まつやま たかひさ}松山 貴久 氏

第3部【演習】

「協働授業づくり体験」（90分）

名城大学教職センター 教授 ^{いなか ひろし}井中 宏史 氏



昨年度の様子

4 対象・定員

(1) 団体・企業・社会教育施設等の方

(2) 教員

(1)・(2) 各10名程度（申込先着順）

お申込みいただいた方には、1週間以内に受講の可否をお知らせします。

5 参加費

無料

6 申込期限

12月27日（火）まで

7 申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、FAX 又は Eメールのいずれかの方法でお申し込みください。申込用紙のダウンロード等の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kyodo2022.html>)



愛知県 協働授業づくり

検索

8 申込先・問合せ先

愛知県環境局環境政策部環境活動推進課
環境学習グループ

電話 052-954-6208

FAX 052-954-6914

Eメール kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp



演習で使用する
「学びを行動につなぐサポートBOOK」

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

事業者向け「化学物質適正管理セミナー」を オンラインで配信しています



化学物質に関する知識や理解を深めていただくため、愛知県は名古屋市と共催で、化学物質を取扱う事業者の方を対象としたセミナーを開催しています。

昨年度に引き続き、今年度もオンラインで配信し、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）及び条例の改正等について説明します。

1 公開期限

12月21日（水）17:00 まで

2 内容

- (1)「化管法（PRTR 制度・SDS 制度）の概要及び改正内容について」

経済産業省製造産業局化学物質管理課

化学物質リスク評価室 石津 さおり 氏

- (2)「愛知県及び名古屋市の条例（化学物質関係）の改正と化学物質の適正管理について」

- (3)「PRTR 電子届出についての新たな発信情報・ツールのご紹介」

(独)製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター リスク管理課 上野山 哲平 氏

- 3 参加費 無料（通信費は自己負担）

- 4 申込期限 12月21日（水）正午まで

- 5 申込方法 あいち電子申請届出システム

([https://www.shinsei.e-aichi.jp/](https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/)

[pref-aichi-u/offer/](https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=59386)

[offerList_detail.action?tempSeq=59386](https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=59386))

申込完了時にメールにて視聴方法をご案内します。



化学物質適正管理セミナー 愛知県

検索

環境活動推進課 環境リスク対策グループ

電話 052-954-6212（ダイヤルイン）

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」の結果発表



愛知県では、地球温暖化防止に向けた「賢い選択（クール・チョイス）」を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動の一環として、夏休み期間中に、小学生とその家族が家庭で地球温暖化防止に向けたエコアップ行動に7日間取り組む「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施しました。

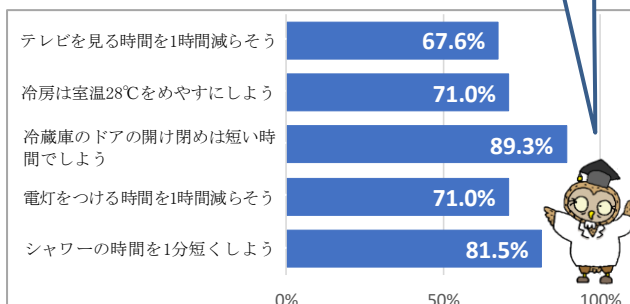
- 参加数：4,498 家族

- 参加小学校数：53 校

- エコアップ行動取組結果

スギ697本相当※のCO₂が削減できたよ！

※4,498家族が7日間で減らした合計量の推計：9,707kg-CO₂で試算



この取組に参加した小学生からは、「みどりのカーテンで近所の人にゴーヤをもらったり、エコアップのおかげでいろいろうれしかった」など、楽しみながら取り組めたという感想が多くありました。また、一緒に取り組んだご家族からも、「子どもが自分たちでもエコ行動を意識する姿が見られ、よい取組でした」といった声をいただきました。

- 優秀校

児童の参加率の高かった小学校を、学校の規模（児童総数）別に優秀校として表彰します。

なかがね 中金小学校（豊田市）、みなみかすや 南粕谷小学校（知多市）、あさひひがし 朝日東小学校（一宮市）、どうほ 童浦小学校（田原市）、しかつにし 師勝西小学校（北名古屋市）

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/ecoup2022.html>)



夏休みエコアップ大作戦

検索

地球温暖化対策課 調整・企画グループ

電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

「あいち生物多様性企業認証制度」の認証式を行いました



愛知県では、企業の生物多様性に関する取組を促進し、優良な取組が県内に広がることを目的として優れた取組を実践し所定の基準を満たす企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を本年4月から運用しています。

10月13日に外部有識者による審査会を実施した結果、40社を認証することが決まりました。

11月14日に県本庁舎正庁において「あいち生物多様性企業認証制度」の認証式を行い、優良認証企業15社、認証企業25社に愛知県産木材を利用した認証書を授与しました。



認証式の様子



あいち生物多様性
優良認証企業

あいち生物多様性
認証企業

認証企業マーク

【マークの趣旨】

いのち輝く青い地球を、両手で優しく包み込む様を描いたマークです。両手に見立てた2つの図形は動植物など生命をイメージしています。手と地球の間に「aichi」の頭文字「a」を表し、愛知の取組がグローバルにつながっていることを表現しています。グリーンからブルーへのグラデーションは、多様な生態系を育む水、緑、空を表すとともに、生物多様性を守り育む意識が未来へ伸びやかに育っていく願いを込めています。

<制度概要(URL)>

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/biodiversity-certification.html>



認証の区分と認証企業一覧(五十音順) 40社

優良認証 (15社)	
(株)アイシン	刈谷市
角文(株)	刈谷市
(株)加藤建設	海部郡蟹江町
小島プレス工業(株)	豊田市
(株)三五	名古屋市熱田区
(株)鈴鍵	豊田市
(株)テクノ中部	名古屋市港区
(株)デンソー	刈谷市
トヨタ自動車(株)堤工場	豊田市
(株)豊田自動織機	刈谷市
トヨタ車体(株)	刈谷市
豊田鉄工(株)	豊田市
ブラザー工業(株)	名古屋市瑞穂区
横浜ゴム(株)新城工場	新城市
リンナイ(株)	名古屋市中川区
認証 (25社)	
愛三工業(株)	大府市
(株)石垣商店	名古屋市守山区
エスベックミック(株)	丹羽郡大口町
大島造園土木(株)	名古屋市中区
(株)オティックス	西尾市
小原木材(株)	岡崎市
加山興業(株)	豊川市
(株)クライム	豊橋市
グリーンフロント研究所(株)	岡崎市
(株)サーラコーポレーション	豊橋市
JFEスチール(株)知多製造所	半田市
シヤチハタ(株)	稲沢市
大同特殊鋼(株)	名古屋市東区
大和リース(株)名古屋支社	名古屋市中村区
(株)地域環境計画	名古屋市名東区
(株)東海理化	丹羽郡大口町
東邦ガス(株)	名古屋市熱田区
東レ(株)東海工場	東海市
戸田建設(株)名古屋支店	名古屋市東区
豊田合成(株)	清須市
尾西信用金庫	一宮市
(同)フォレストエネルギー新城	新城市
(株)マルワ	名古屋市天白区
三井住友信託銀行(株)一宮支店	一宮市
(株)LIXIL 知多工場	知多市

🔍 あいち生物多様性企業認証

検索

〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催しました



食品ロス（本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品）の問題を、県民や食品関連事業者の皆さんに知ってもらい考えていただくため、「食品ロス削減イベント」を10月29日（土）に名古屋市中区のナディアパークデザインホールで開催しました。また、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及を図るため、ごみゼロ社会推進あいち県民会議*主催の「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催し、約100名の方にご参加いただくとともに、約400名の方にWeb配信をご視聴いただきました。

*事業者団体、消費者団体、県内市町村等111団体で構成

【食品ロス削減イベント】

俳優でタレントの寺坂頼我^{てらさからい}さんによる「食品ロス削減トークショー」及び「食品ロスNo! ワールドアドベンチャーステージ」では、来場者の皆さんに食品ロス削減に取り組んでいるか、寺坂さんと一緒に確認していただくとともに、もったいない恐竜との交流を通じて、日々の取組を考えていただきました。

また、食品ロス問題ジャーナリストの井出留美^{いであるみ}さんから、食品ロスが地球に与える影響や、食品ロスをなくす方法、私たちにできる食品ロス削減などについてご講演いただきました。



食品ロスNo! ワールドアドベンチャーステージ

【ごみゼロ社会推進あいち県民大会】

使い捨てされやすいワンウェイプラスチックごみ削減に積極的に取り組み、優れた功績を挙げた企業・団体を表彰する「ワンウェイ（使い捨て）プラスチックごみ削減取組表彰」の優秀賞2事業者と、「レジ袋削減取組店」に登録している県内の230店舗のうち

レジ袋削減に顕著な実績を収めた5店舗に対し、大村知事から表彰状が授与されました。



表彰式

また、お笑い芸人でありながらゴミ清掃員としても働くマシンガンズ滝沢秀一^{たきざわしゅういち}さんによる「トークショー」では、びっくりしたごみランキングの発表や、ゴミ清掃員の立場から食品ロスやごみを削減するためのアドバイスをお話いただきました。

このほか、会場内の各ブースでは、食品ロスをゲームや動画で学ぶ環境学習プログラムの体験、（一財）日本気象協会による天気予報データで商品の売れ行きを予測する需要予測プログラム等の食品ロス削減の取組や、「ワンウェイ（使い捨て）プラスチックごみ削減取組表彰」の優秀賞受賞事業者の取組紹介を行いました。

さらに、家庭などで余った食品を持ち寄るフードドライブには、121点計24.7kgの食品を持ち寄っていただき、県内のフードバンクに寄付しました。ご協力ありがとうございました。



ブース出展

(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/sigen-ka/ippai/gomizero/>)



あいち 食品ロス ごみゼロ

検索

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）

「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました



愛知県では、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」の輪を広げていくため、2014年度から「Let's エコアクション in AICHI」を開催しており、今年度は、「みんなで楽しく！エコアクション」をテーマに、東海市の協力を得て、11月6日（日）に名鉄太田川駅前イベント広場「大屋根広場」において開催しました。

ステージイベントでは、クイズ等を交えた環境学習、地元アイドルグループ「OS☆U」^{オーエスユー}（あいちエコアクション広報部）のライブやエコアクションセレモニーなどを行いました。



クイズ等を交えた環境学習

ワークショップでは、廃油を使ったアロマキャンドル作りや環境を題材とした親子で楽しめるゲームなどを行いました。



環境を題材とした親子で楽しめるゲーム

また、フードドライブでは、食品 66 点（18.1kg）を皆さんからお持ちいただき、県内のフードバンクに寄付することができました。

多くの方にご来場いただき、イベントを通じて楽しみながらエコアクションやSDGsについての関心を高めていただくことができました。

環境活動推進課 環境学習グループ

電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

「アクション油ヶ淵2022」を開催しました



「油ヶ淵」は、愛知県内唯一の天然湖沼です。この油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げるため、油ヶ淵水質浄化促進協議会*の主催で、毎年度、体験型イベント「アクション油ヶ淵」を開催しています。

今年度は、10月29日（土）に油ヶ淵水辺公園自然ふれあい生態園（安城市東端町）で開催し、体験型講座や各種のブース出展を行いました。

体験型講座では、油ヶ淵とその周辺に生息・生育するメダカや水草などの生きものを使ったミニビオトープ作りを通して、生きもの同士が関わり合いながら水をきれいにしていることなどを学びました。



ミニビオトープ作り

各ブースでは、環境に関するクイズに挑戦する「エコたんクイズラリー」や、油ヶ淵の水辺でゴムボートの乗船体験ができる



エコたんクイズラリー

「油ヶ淵にぷーかぷか」などを行いました。

当日は、天候にも恵まれ、約500名の方にご来場いただき、楽しみながら油ヶ淵の生きものや環境への関心を深めていただくことができました。

*油ヶ淵の水質浄化を目的として1993年設置。愛知県と油ヶ淵周辺4市（碧南市、安城市、西尾市及び高浜市）で構成

アクション油ヶ淵2022

検索

(https://www.aburagafuchi.jp/kyougikai/action_aburagafuchi_kaisai.html)



水大気環境課 生活環境地盤対策室

三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」の サポーターズ手帳を製作しました



愛知県は、2015年に、県民、NPO、企業・関係団体、教育機関等が連携・協働し、県民の皆さんに三河湾に関心を持っていただき、県民の里海である三河湾を再生し次の世代に贈ることを目的とする「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」（以下「クラブ」という。）を設立しました。

この度、クラブの目的に賛同し応援する個人のサポーターの三河湾関連イベントへの参加を促進するとともに、サポーターの更なる増加につなげるため、サポーターズ手帳を新たに製作しました。

手帳には、三河湾に関する様々な情報を掲載しているほか、県が作成したサポーターズカード（サポーターが集めて楽しめるコレクションカード全30種）を収納するためのカードホルダーが付いています。

🔍 三河湾 サポーターズ手帳

検索

三河湾の環境再生に関するイベントで無料配布していますので、是非イベントに参加して手帳を手に入れてください。

県では、サポーターを随時募集しています。



サポーターズ手帳（表紙）

皆さんもサポーターになって、一緒に里海である三河湾の環境再生に取り組みましょう。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/club-supporterscard.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

「第41回 愛知県・自然歩道を歩こう大会」を 開催しました



愛知県では、10月16日（日）に犬山市内で「第41回 愛知県・自然歩道を歩こう大会」を開催しました。

このイベントは、東海自然歩道*を歩くことを通じて、自然とふれあい、自然への理解を深めることを目的として毎年10月に愛知県ウォーキング協会と共催で開催しているものです。

今回は、石作公園^{いしづくり}を出発し、緑豊かな東海自然歩道^{とおの}や大平林道^{おおい}を歩いたあと、木曽川に沿って国宝・犬山城を目指すコースで、全長約12kmの行程を約4時間かけて歩きました。



出発式の様子



当日は、天候にも恵まれ、66名の方にご参加いただき、楽しみながら自然への関心を深めていただくことができました。



東海自然歩道を歩く様子

*東海自然歩道は、東京の「明治の森高尾^{たかお}国定公園」から大阪の「明治の森箕面^{みのお}国定公園」まで1都2府8県にまたがり緑豊かな自然と貴重な文化財をたずねる全長1,697kmの歩道です。愛知県内は約211kmのコースとなっており、県民に自然散策の場として親しまれています。

自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227（ダイヤルイン）

国道23号通行ルール（名古屋南部地域）に ご協力をお願いします



【国道23号通行ルール（名古屋南部地域）】

名古屋南部地域の気象環境は、近年徐々に改善が進んでいますが、この地域を貫く国道23号では、交通量が10万台/日を超える箇所や大型車混入率が5割近い箇所もあり、他の道路沿道に比べ大気汚染物質の濃度が高くなっています。

そこで、国土交通省では、名古屋南部大気汚染公害訴訟の和解条項の一つである車線削減の代替策として、従来からの法規制に加え、**大型車は中央寄り車線を走行**することで沿道の騒音や大気汚染を低減させる「**国道23号通行ルール（名古屋南部地域）**」を策定し、関係機関（環境省、愛知県、名古屋市、愛知県警

及び（一社）愛知県トラック協会）とともに周知や呼びかけを行っています。

＜実施目的＞ 沿道の騒音や大気汚染の低減

＜対象車種＞ 大型車〔下図の大型車の例参照〕

＜実施区間＞ 緑区大高町（名古屋南インター交差点）～海部郡飛島村（梅之郷交差点）までの国道23号・約16kmの区間〔下の地図参照〕

＜お願い＞ 実施区間では、**大型車は外側車線（環境レーン）を避け、中央寄り車線の走行**、小型車は大型車が中央寄り車線を走行しやすいよう、**外側車線（環境レーン）の走行**にご協力をお願いします。

中央寄り走行をお願いする大型車の例



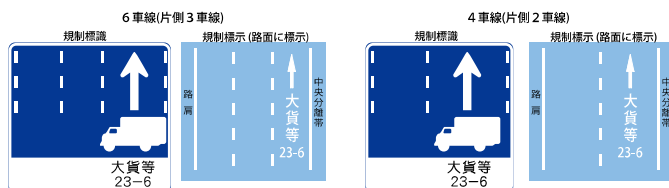
大型車は環境レーンを避けて走行



「国道23号通行ルール（名古屋南部地域）」の実施区間

【法の規制を守りましょう】

・道路交通法により、上記の実施区間のうち緑区折戸～港区十一屋間では大型車は夜間（23時～翌朝6時）、最も中央寄りの車線を通行しなくてはなりません。



（規制標識・規制表示）

・道路運送車両の保安基準等に定める、黒煙を多量に発散する整備不良車、不正燃料使用車、過積載車両、許可なし特殊車両は公道を通行できません。

【その他 沿道環境に配慮した走行のお願い】

・「ふんわりアクセルでゆっくり発進」などのエコドライブの実施（排出ガスを抑え、燃料も節約できます。）
・自動車NOx・PM法車種規制非適合車を使用しない（「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、使用しないをお願いします。）

地球温暖化対策課 自動車環境グループ
電話 052-954-6217（ダイヤルイン）
建設局 道路建設課 企画・環境対策グループ
電話 052-954-6541（ダイヤルイン）

○「気候変動適応セミナー」を開催します

愛知県気候変動適応センターでは、今後起こると予測される気候変動影響への適応の必要性について、県民の皆さんに知っていただき、身近な問題として適応策に取り組んでいただくため、「気候変動適応セミナー」を開催します。是非ご参加ください。

1 日時 2023年1月19日(木) 13:30~16:30

2 場所 ウィンクあいち 1302 会議室

(名古屋市中村区名駅四丁目 4-38)

3 参加費 無料

4 定員 80名(事前申込制(先着順))

5 内容

- (1) 愛知県気候変動適応センターの取組紹介
- (2) 講演「気候適応の日本史～人新世をのりこえる視点～」

名古屋大学大学院 環境学研究科

教授 ^{なかつか} 中塚 ^{たけし} 武 氏

なお、本セミナーは、愛知県地球温暖化防止活動推進センターによる「気候危機対策交流フォーラム～未来に向けた地域づくりを考える～」と同時開催します。フォーラムでは、「緩和」と「適応」の両視点から地球温暖化による気候変動対策を考える機会として、「2050年脱炭素社会に向けた地域づくり」に関する話題提供や、トークセッション「気候危機を踏まえた地域を考える」も行われます。

詳細及び申込は、Web ページをご覧ください。

愛知県気候変動適応センター

検索



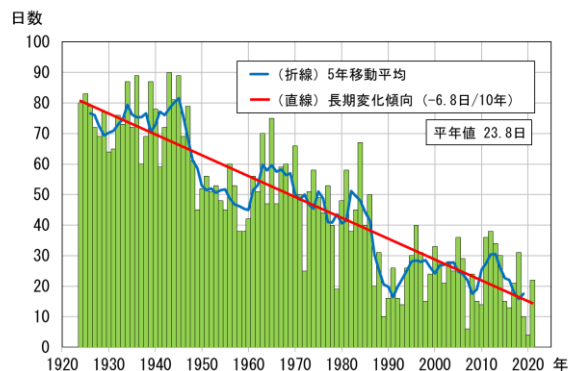
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/tekiou.html>)

○冬の気候変化について

地球温暖化による影響については、夏の暑さや豪雨などが注目されがちですが、冬の気候にも変化を与えています。

<これまでの観測での変化>

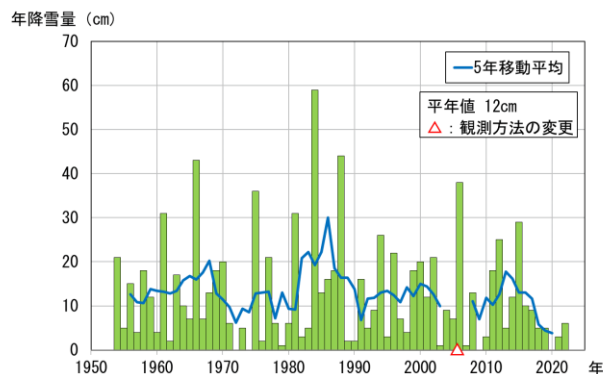
名古屋(名古屋地方気象台)では、日最低気温が0℃未満となる冬日の年間日数が、10年あたり約6.8日減っています。



名古屋の冬日の日数の変化

(1924年(気象台移転翌年)以降の気象庁のデータを基に作図)

なお、名古屋の降雪量の変化への影響は、これまでの観測からは見られていません。



名古屋の年降雪量の変化(気象庁のデータを基に作図)

<将来予測>

「愛知県の気候変動(名古屋地方気象台・東京管区気象台作成)」によると、将来の気温上昇が2℃以下の場合であっても、愛知県では21世紀末には、20世紀末と比較して冬日は13日程度減少すると予測されています。

また、「日本の気候変動2020(文部科学省、気象庁作成)」によると、降雪量については、気温の上昇に伴い雪が雨になることを反映し、愛知県を含めた全国平均で30%程度減少すると予測されています。

詳細は、気象庁のWeb ページをご覧ください。

日本の気候変動2020

検索



(<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>)

環境調査センター 企画情報部

気候変動適応センター

電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

「愛知県環境調査センター 一般公開デー」を開催します



お子様から大人の方まで、より多くの皆さんに環境について関心を持っていただくため、「愛知県環境調査センター 一般公開デー」を開催します。環境分析の現場や新エネ・省エネ設備の見学、あいち環境学習プラザでのタブレットを使った学習体験、巨大デジタル地球儀の展示投影、環境の大切さについて楽しく学べる講座や工作教室など、多彩な内容となっています。是非お越しください。

1 日時 12月10日(土) 10:00～15:30

2 場所 愛知県環境調査センター
(名古屋市北区辻町字流 7-6)

3 主な内容

(1) 施設見学

- ・環境分析現場(通常非公開)の見学と分析体験
- ・新エネ・省エネ設備の見学



環境分析現場の見学

(2) 体験等

- ・あいち環境学習プラザでのタブレット学習とハンズオン(体験)展示の体験
- ・音の大きさの測定体験



タブレット学習

(3) 展示等

- ・愛知県気候変動適応センターによる巨大デジタル地球儀の展示投影
- ・ムササビなどの生物標本の展示
(協力：なごや生物多様性センター)
- ・燃料電池自動車「MIRAI」等の展示

(4) 環境学習講座

「酸性雨ってなに？」(講師：県職員)

(5) 工作教室

- ①「ムササビグライダー
をつくろう！」



ムササビグライダー
(講師：あいちecoティーチャー)

- ②「もりの学舎 あそび工房 ネイチャークラフト」
(講師：もりの学舎インタープリター)



ミニツリー



ミニクリスマスリース

(6) クイズラリー「地球を救え！2022」

参加者には、素敵なエコグッズをプレゼントします(先着 400 名)。

(7) 記念グッズプレゼント

来場者アンケート回答者には、県政 150 周年記念グッズをプレゼントします(先着 240 名)。

4 参加費等 無料、事前申込不要

5 その他

会場へは、公共交通機関をご利用ください。

(来場者用の駐車場はありません。)

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo-c/>)



愛知県環境調査センター一般公開

検索

環境調査センター 企画情報部

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※ 掲載のイベントや講習会等は、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」

2022 年 12 月 5 日発行(第 319 号)

編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

12 月になりました。この冬も政府から節電の協力が求められています。暖房の設定温度を低めに設定して、加湿器を併用し、フィルターの掃除をこまめにするのも節電になるようです。

その他には、いつもより 1 枚多めに重ね着するのもいいですね。無理のない程度に節電し、寒い冬を乗り切りましょう。

(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右の QR コードからアクセスできます。

※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

